

学校と地域が支える郷土芸能

幌別鉄南地区連合町内会では、幌別東小学校の協力を得ながら、幌別町の開拓の力になった馬と祖先に感謝する『幌別駒おどり』を伝承しています。

土曜授業の時間を活用して、同校の全児童は地域の育成者の指導を受けて『幌別駒おどり』の踊り方を習得。踊りを市民演芸会で披露するために、一生懸命練習していました。

幌別鉄南地区連合町内会

会長 山田 正幸



まちの魅力を再発見

市連合町内会事業部会は、まちの魅力を再発見してもらうため、市内を視察研修する『町内会女性役員まちづくり研修会』を開催。約100人の参加者が、郷土資料館やふおれすと鉱山、大湯沼川天然定湯を見学しました。市で暮らし始めて三十数年となる参加者の一人は「意外と知らないことも多く、いい機会になりました」と話していました。

市連合町内会事業部会

部会長 田淵 純勝



地域力を結集した資源回収活動

新和会では、ごみ減量と資源の有効利用を進めるため、月2回、各家庭から出る新聞紙や雑誌、空き瓶などの回収活動を役員総出で実施しています。

会員の協力をいただき、効果的な回収作業に努めたところ、平成27年度の回収量は73ト。資源回収で得た奨励金で、町内会全戸に市指定の燃やせるごみ袋（20リットル10枚）を配布しました。

新和会

会長 島田 幸一



親子でスキーに挑戦

登別温泉地区連合町内会は、小学生とその親を対象に、サンライバスキー場で『親子スキー教室』を開催しました。

町内会の会員6人の指導で、参加者は、スキー板を平行に揃えたりハの字型に滑ったりする技術を学びました。指導を受けながら滑っていくうちに少しずつ上達し、スキーの楽しさを感じていました。

登別温泉地区連合町内会

会長 須賀 武郎

